

平成27年度多面的機能支払交付金の 実施状況について

平成28年10月

山梨県農政部農村振興課

対策のコンセプト

「農業の多面的機能の維持・発展」

○ 農業の多面的機能は農産物の供給機能と一体のものとして生じるものであるが、農村集落では高齢化や混住化が進行し、農地や農業用水などの資源を守る「まとまり」が弱まっている。地域活動や営農活動に取り組む組織に対して支援を行い、多面的機能の促進を図っていくことが本対策のコンセプトである。

「制度の内容と変更」

【 平成25年度以前 】

農地・水保全管理支払交付金
(共同活動)

農地・水保全管理支払交付金
(向上活動)

【 平成26年度以降 】

農地維持支払
多面的機能を支える共同活動を支援

資源向上支払
地域資源の質的向上を図る活動を支援

資源向上支払(共同)

資源向上支払(長寿命化)

対策の内容

農地維持支払



■ 点検・機能診断



■ 水路の保全管理



■ 農道の保全管理



■ ため池の保全管理

資源向上支払（共同）



■ 遊休農地発生防止



■ 地域環境の保全



■ 農道舗装の補修



■ 水田魚道の設置

資源向上支払（長寿命化）



■ 水路の老朽化箇所の補修



■ 素掘り水路からコンクリート水路への更新

国・県・市町村による助成単価

農地維持支払

地目	10aあたり単価
水田	3,000円/10a
畑	2,000円/10a
草地	250円/10a

資源向上支払（共同）

地目	10aあたり単価
水田	2,400円/10a
畑	1,440円/10a
草地	240円/10a

資源向上支払（長寿命化）

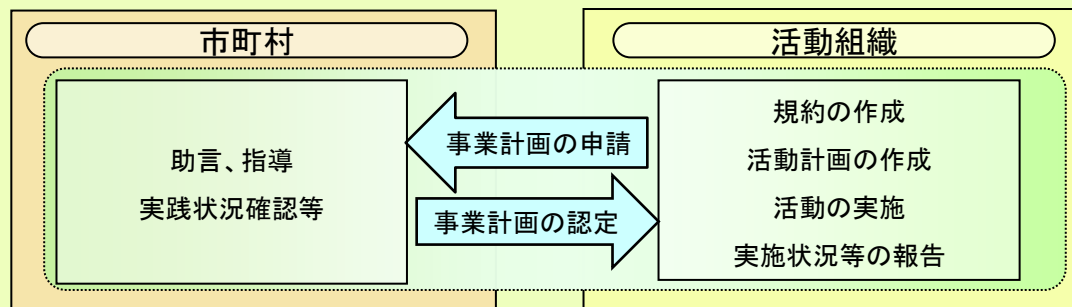
地目	10aあたり単価
水田	4,400円/10a
畑	2,000円/10a
草地	400円/10a

財源は、国50%、県25%、市町村25%

活動計画の作成例



事業計画の認定



山梨県の実施状況

1. 平成27年度の取組状況

市町村	農振農用地 面積(ha)	農地維持支払			資源向上支払(共同)			資源向上支払(長寿命化)		
		実施地区数	取組面積(ha)	実施率(%)	実施地区数	取組面積(ha)	実施率(%)	実施地区数	取組面積(ha)	実施率(%)
甲府市	883.7	3	49.09	5.6%	3	49.09	5.6%			
韮崎市	1790.6	24	536.15	29.9%	24	536.15	29.9%	8	149.55	8.4%
南アルプス市	2545.1	12	1204.73	47.3%	12	1204.73	47.3%	1	102.47	4.0%
北杜市	5935.6	81	2541.66	42.8%	71	2365.7	39.9%	65	2290.36	38.6%
甲斐市	930.3	3	175.4	18.9%	3	175.4	18.9%	1	2.83	0.3%
中央市	747.2	2	53.87	7.2%	2	53.87	7.2%			
山梨市	2189.5	9	593.3	27.1%	8	580.3	26.5%			
笛吹市	3508	14	940.24	26.8%	14	940.24	26.8%			
甲州市	2054	9	840	40.9%	9	840	40.9%	10	955.68	46.5%
市川三郷町	571.4	5	87.25	15.3%	4	77.75	13.6%			
富士川町	379.5	8	131.3	34.6%	8	131.3	34.6%	7	116	30.6%
身延町	400.8	9	88.86	22.2%	9	88.86	22.2%	8	86.5	21.6%
南部町	365.8	1	9.71	2.7%	1	9.71	2.7%			
富士吉田市	119.2	2	14.12	11.8%	2	14.12	11.8%			
都留市	375.6	4	42.38	11.3%	4	42.38	11.3%	1	26.4	
大月市	354.6	1	7.5	2.1%	1	7.5	2.1%			
上野原市	414.8	2	18.36	4.4%	2	18.36	4.4%	1	6.36	1.5%
富士河口湖町	732.6	1	210	28.7%	1	210	28.7%			
小菅村	43.2	1	2.58	6.0%	1	2.58	6.0%			
山梨県合計	24,925	191	7546.5	30.3%	179	7348.04	29.5%	102	3736.15	15.0%

2. 支援額の算定

○支援額の算定方法

集落単位等によって制度へ参加し、参加対象の農地面積と地目によって、年間の支援額を算定し、活動期間中(原則5年間)支援を受けられる。

○支援額の算定例 (県内で取り組まれている平均的な面積により算定)

対象農地が水田15ha、畑25ha(計40ha)で参加した場合の支援額

①農地維持支払

$(15\text{ha} \times 30,000\text{円} + 25\text{ha} \times 20,000\text{円}) \times 1\text{年間} = 950,000\text{円}$

②資源向上活動(共同活動)

$(15\text{ha} \times 24,000\text{円} + 25\text{ha} \times 14,400\text{円}) \times 1\text{年間} = 720,000\text{円}$

③資源向上活動(長寿命化)

$(15\text{ha} \times 44,000\text{円} + 25\text{ha} \times 20,000\text{円}) \times 1\text{年間} = 1,160,000\text{円}$

年間265万円の支援を受けられ、5年間では最大1,325万円となる。

※①、②及び③を一緒に取り組む場合は、②の単価は75%となるため、上記金額になる。

3. 取組組織数、面積等について

- 共同活動について、平成26年度の制度改正に伴い活動内容が変更になった為、基礎的な保全活動を実施する農地維持支払と比較することとする。
- 農地維持支払について、平成26年度の推進活動の効果によりあらたに取り組む組織が設立されたため、取組面積が大きく増加している。
- 資源向上活動(長寿命化)も26年度に比べて田、畑共に増加しており、制度が浸透していると言える。

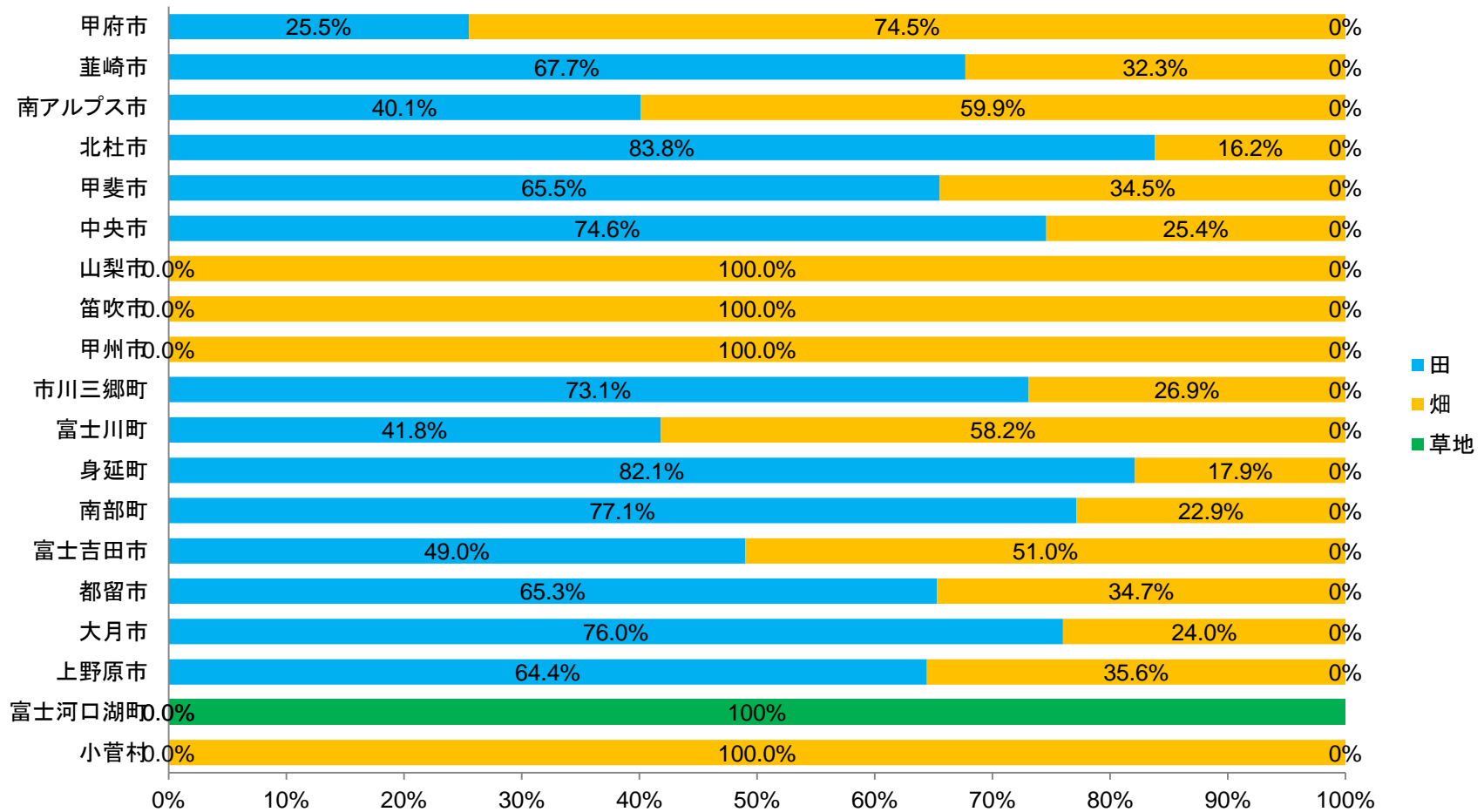
〈農地維持支払(旧共同活動)の実施状況〉

	市町村数	活動組織数	取組面積(ha)下段はシェア(%)			
			田	畑	草地	
平成27年度	19	191	7,547	3,395	3,942	210
			100.0%	45.0%	52.2%	2.8%
平成26年度	19	160	6,814	2,738	3,866	210
			100.0%	40.2%	56.7%	3.1%
増減	0	31	733	657	76	0

〈資源向上支払(長寿命化)(旧向上活動)の実施状況〉

	市町村数	活動組織数	取組面積(ha)下段はシェア(%)			
			田	畑	草地	
平成27年度	9	102	3,736	2,370	1,366	0
			100.0%	63.4%	36.6%	0%
平成26年度	8	93	3,559	2,276	1,283	0
			100.0%	64.0%	36.0%	0%
増減	1	9	177	94	83	0

市町村別の地目割合(農地維持支払)



○農地維持支払の取組面積は、7,547haであり、地目別シェアは、水田45.0%、畑52.2%、草地2.8%。
 ○市町村別に見ると、山梨市、笛吹市、甲州市の峡東地域及び小菅村は畑における取組割合が100%となっている。また、米作りの盛んな北杜市では水田のシェア率が高くなっており、取り組み地域の特産に応じて地目割合に変化がみられる傾向となっている。

4. 活動組織について

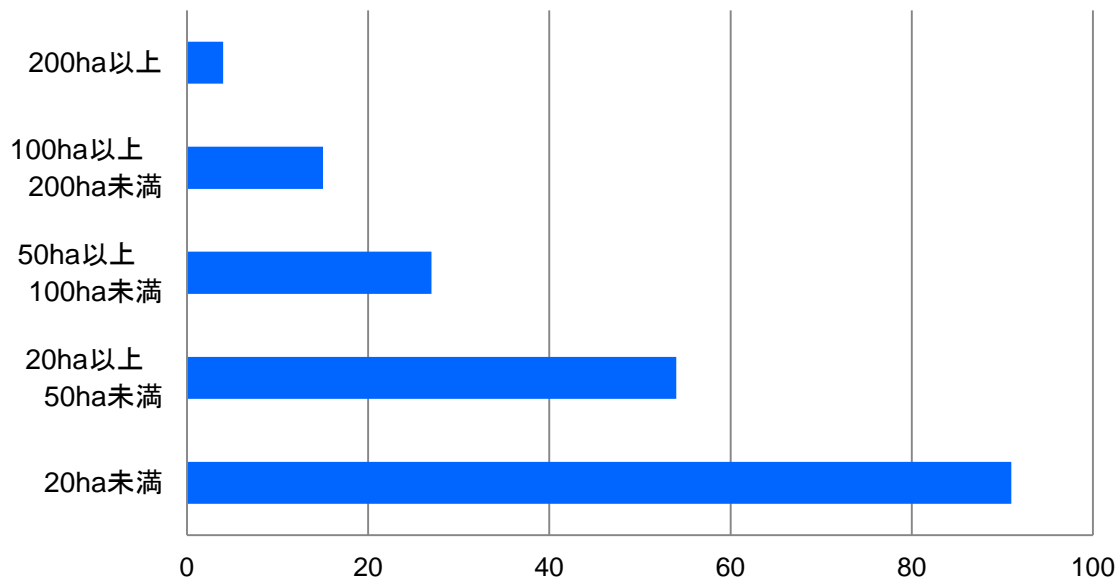
(1) 面積規模別の活動組織数

- 活動組織の規模(協定範囲)は、農地・農業用水等の資源や環境を最も保全しやすいまとまりを地域の実態に応じて設定することができる。
- 面積規模別では20ha未満及び20～50haで145組織(75.9%)と最も多くなっており、1活動組織当りの平均面積は約39.5ha。

〈面積規模別の活動組織数〉

20ha未満	20ha以上 50ha未満	50ha以上 100ha未満	100ha以上 200ha未満	200ha以上
91	54	27	15	4

面積規模別活動組織数



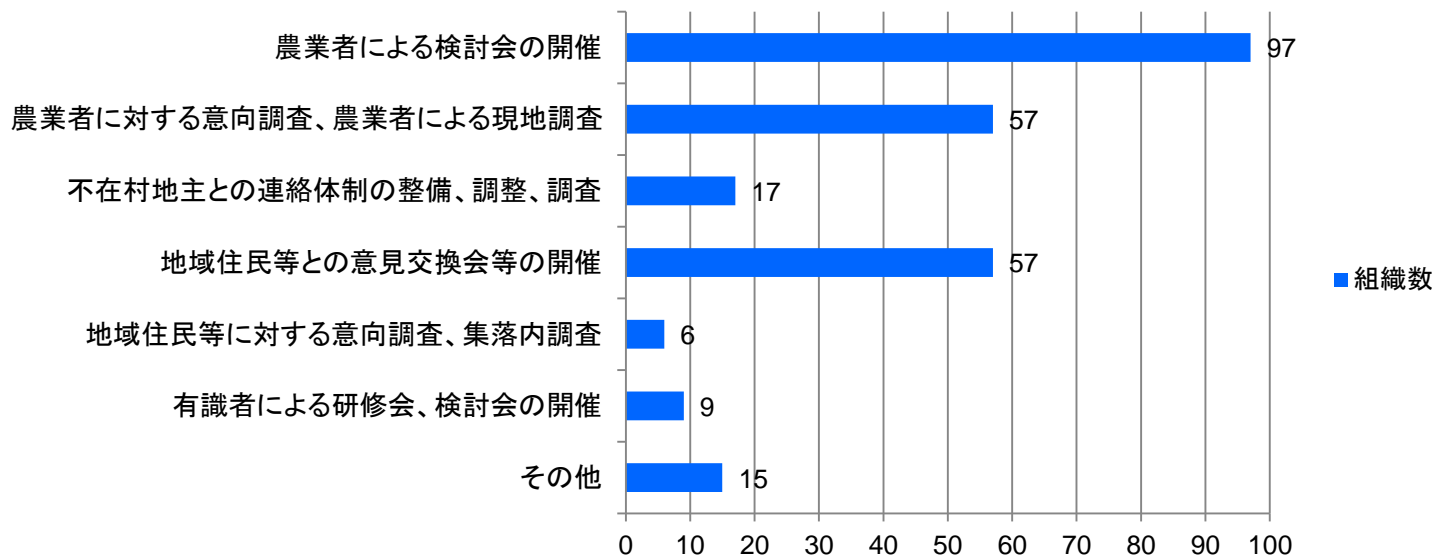
4. 活動組織について

(2) 活動組織における活動実施状況

- 活動組織は協定エリアにおいて、農地維持支払、資源向上支払の対象活動の中で、計画に位置づけた活動を毎年度実施しなければならない。
- 農地維持支払では、農地周辺の草刈り、泥上げのほか、「地域資源の適切な保全管理のための推進活動」をテーマを1つ以上選択して取り組まなければならない。
- 資源向上支払(共同活動)では、施設の軽微な補修のほか、「農村環境保全活動」のテーマを1つ以上選択して取り組まなければならない。

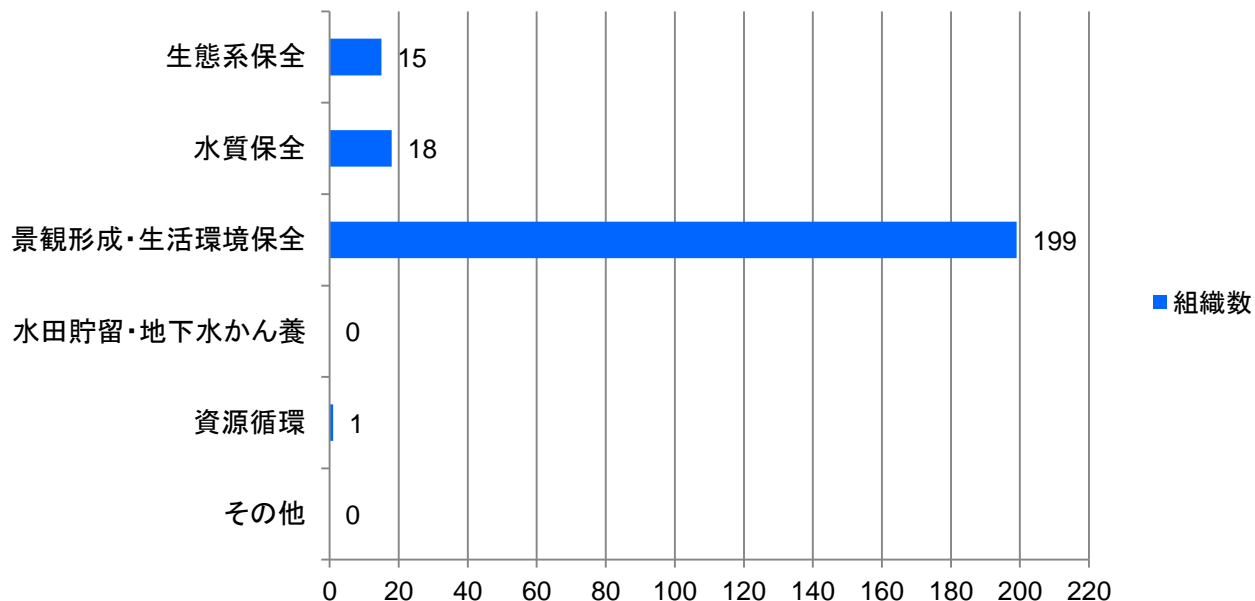
〈農地維持支払〉

地域資源の適切な保全管理のための推進活動



〈資源向上支払(共同活動)〉

農村環境の保全のための活動



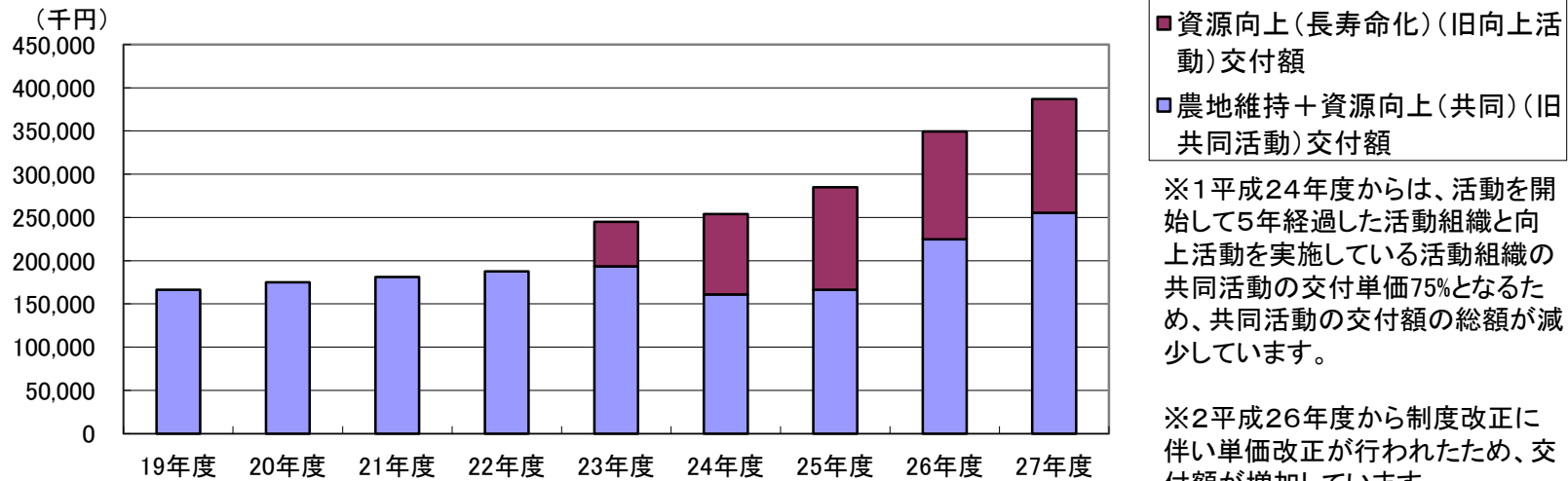
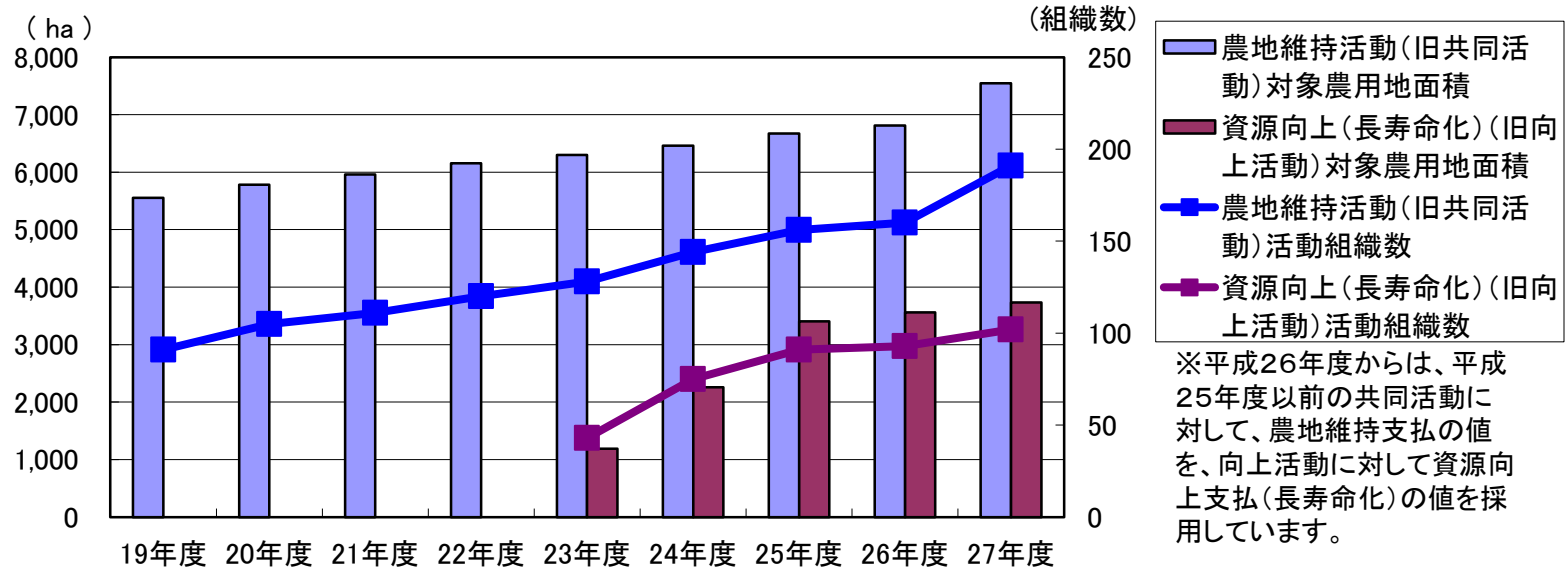
- 農地維持支払の「地域資源の適切な保全管理のための推進活動」では、農業者による検討会の開催や、地域住民との意見交換会の開催など、集落での話し合いを活用して実施できる活動が、多く選択されている。
- 資源向上支払(共同活動)では、ほとんどの集落が景観形成・生活環境保全を選択している。主な活動内容は比較的どの集落においても取り組みやすい植栽活動であり、地域の子供から高齢者までが参加し、交流の場を創出している。

5. 取り組み状況の推移について

〇H19年度より実施してきた本事業は、毎年度推進をしている結果、活動組織数・交付面積とも右肩上がりで推移している。日頃農家が行う共同活動を支援する本制度は、高齢化が深刻化する農業地域において地域コミュニティの形成等の重要な役割を果たしていることから、更なる推進を図っていく。

		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
農地維持 +資源向上 (旧共同活動)	活動組織数	91	105	111	120	128	144	156	160	191
	対象農用地面積(ha)	5,554	5,782	5,960	6,156	6,302	6,462	6,672	6,814	7,547
	交付額(円)	166,364,240	175,107,440	181,311,440	187,483,240	193,493,440	160,916,290	166,510,180	224,594,280	255,318,162
	うち 国費	83,182,120	87,553,720	90,655,720	93,741,620	96,746,720	80,458,145	83,255,090	112,297,140	127,659,081
	うち 県費	41,591,060	43,776,860	45,327,860	46,870,810	48,373,360	40,229,075	41,627,548	56,148,573	63,829,561
	うち 市町村費	41,591,060	43,776,860	45,327,860	46,870,810	48,373,360	40,229,070	41,627,542	56,148,567	63,829,520
資源向上 (旧向上活動)	活動組織数	向上活動は平成23年度から実施				43	75	91	93	102
	対象農用地面積(ha)					1,192	2,258	3,404	3,559	3,736
	交付額(円)					51,502,960	93,103,920	118,408,920	124,731,400	131,578,120
	うち 国費					25,751,480	46,551,960	59,204,460	62,365,700	65,789,060
	うち 県費					12,875,740	23,275,980	29,602,230	31,182,850	32,894,530
	うち 市町村費					12,875,740	23,275,980	29,602,230	31,182,850	32,894,530
交付額計	交付額(円)	166,364,240	175,107,440	181,311,440	187,483,240	244,996,400	254,020,210	284,919,100	349,325,680	386,896,282
	うち 国費	83,182,120	87,553,720	90,655,720	93,741,620	122,498,200	127,010,105	142,459,550	174,662,840	193,448,141
	うち 県費	41,591,060	43,776,860	45,327,860	46,870,810	61,249,100	63,505,055	71,229,778	87,331,423	96,724,091
	うち 市町村費	41,591,060	43,776,860	45,327,860	46,870,810	61,249,100	63,505,050	71,229,772	87,331,417	96,724,050
活動組織数(重複分除く)		91	105	111	120	131	152	166	170	201

5. 取り組み状況の推移について



疎水を活かした農村コミュニティの強化と観光の推進

むらやま さと はぐく かい ほくとし
村山の郷・育む会 (山梨県北杜市)

中間農業地域

- 村山の郷育む会は、八ヶ岳、南アルプス山脈、奥秩父山塊といった山々に囲まれ、南には富士山も望める山梨県北杜市のほぼ中央にある高根町に位置し、疎水百選に選定された「村山六ヶ村堰疎水」を中核とした様々な活動を取組んでいる。
- 小学校等と連携したイベントを開催して、村山六ヶ村堰疎水の歴史や役割について学ぶとともに、疎水によって育まれる食材を活用した試食会などを行い、地域間と三世代の交流を図っている。
- 本取組によって、地域内のコミュニティが強化され、地域資源保全活動に取り組む意識も向上するとともに、農村資源を活用した観光にも取り組んでいる。

【地区概要】

- ・取組面積344ha
(田228ha、畑116ha)
- ・資源量 開水路12.1km、
農道3.4km
- ・主な構成員 自治会、婦人会等
- ・交付金 約26百万円(H27)
(農地維持支払
資源向上支払(共同、長寿命化))

活動開始前の状況や課題

- 本地域は、旧六ヶ村の17集落により構成されているが、共同活動に参加する若い世代の減少等により、集落単位でのコミュニティ機能が低下。
- 疎水百選に選定された村山六ヶ村堰疎水やその周辺に生育している希少植物などの観光資源があるものの、それらの資源を保全するコミュニティ機能の低下が懸念され、郷を守り育て次世代につなぐという気運を高めることが課題。



村山六ヶ村堰疎水と希少植物(キキョウ)

取組内容

- 平成24年度から、組織体制の整備に取り組み、農村資源を地域で守っていくという意識を醸成。
- 集落間で連携し、小学校の総合学習の一環や親子3代の絆を深めるため、疎水の歴史や役割について学ぶウォーキングイベントを開催。
- 地域内の様々な組織と連携し、疎水によって育まれたトマトを活用した新たな食品の試食会の開催や希少植物を活用したフットパス*の整備など新たな観光資源の開発に取り組む。



交流会における試食会の様子

*田園地帯など地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くことができる小径(こみち)のこと

取組の効果

- 地域内の子ども世代に対し、疎水の歴史や役割を教えることにより、子どもだけではなく、親世代に対しても、その保全に係る理解を増進。
 - ・H27年度ウォーキングイベント参加者数: 131人(3小学校4年生)
 - ・H27年度農地維持活動の参加率: 9割超
- 村山六ヶ村堰疎水や地元食材など地域の魅力を発信。知名度向上を図ることにより、多くの集客による地域の活性化。
 - ・イベント広報活動: 広報誌 3回、TV取材 3回
 - ・地域間交流イベントにおける地域外からの参加者: 約3割



小学校と連携したイベントの様子

やまなししかんきょうほぜんかつどういいんかい (やまなしけん やまなし)
山梨地域環境保全活動委員会 (山梨県山梨市)

- 本地域はオオムラサキや珍蝶等が生息できる恵まれた自然環境を持つ反面、水路への不法投棄などで水質の悪化により生態系に影響を及ぼしている問題も抱えている。
- 地域住民や次世代を担う子供に環境保全意識の高揚につなげる事を目的とし平成24年度から道路・水路クリーンアップ5ヶ年計画を策定し、水質向上啓蒙する立看板の作成、水路清掃等を行うと併に魚の放流や生息しているオオムラサキの保護活動を行う。
- これらの活動により地域住民の環境保全意識の向上が図られる。

【地区概要】

- ・取組面積86ha (畑86ha)
 - ・資源量 開水路7.0km
農道1.7km
 - ・主な構成員 事務局、自治会、育成会、水利組合、公民館、JA役員等
 - ・交付金 約3百万円(H27)
- (農地維持支払
資源向上支払(共同、長寿命化))

活動開始前の状況や課題

- 水路へゴミ等の不法投棄や農薬の流入により、水質が悪化し生態系など周辺環境にも影響を及ぼしている。
- 地域の持つオオムラサキ等の珍蝶が生息できる恵まれた自然環境の保護方法について検討。
- 地域が持つ自然環境のアピールと共に環境保全意識の向上・定着を目的に事業を取り組む。

【不法投棄等により水質悪化している】



【オオムラサキが生息できる自然環境】



取組内容

- 水路清掃、立看板の作成。
- 農家取組は農薬散布は広報紙等を利用して農薬流出防止を呼びかける。また果樹袋も飛散しないように工夫し、風により水路に入らないよう水質の保全に努める。
- 鯉の放流、オオムラサキの生体調査パトロール、榎木伐採防止依頼保護活動の実施。

【子供達と一緒に鯉の放流】



【自然環境パトロー風景】



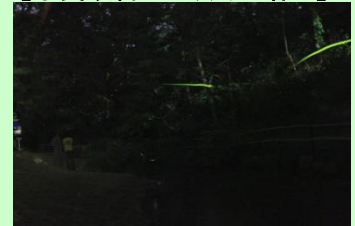
【啓蒙看板の作成風景】



取組の効果

- 本事業の取組により、農家を含めた地域住民の環境保全意識の向上。
- 事業取組回数
H26 30回 → H27 40回
- 不法投棄物の減少
H26トラック2台分 → H27トラック1台分
- 水質向上に伴い蛍の発生が年々増加に至る。

【水質改善により蛍が増加】



【啓蒙看板の設置】



【農家による果実袋の飛散防止】



ひらばやし みなみこま ふじかわ 平林地域環境保全活動委員会（山梨県南巨摩郡富士川町）

- 山梨県南西部に位置し、集落内に棚田が広がる山間農業地域。集落が有する棚田と富士山が織りなす風景は、地域の誇れる資源で有り観光スポットにもなっている。
- しかし、農業従事者の高齢化や後継者不足が進んだことにより、耕作放棄地の増加が課題となっていた。
- このため、地域住民が組織する活性化組合が中心となり、耕作放棄地を活用した棚田オーナー制度や農業体験、朝市などを活用した地域の活性化に取り組んでいる。
- この取り組みの基盤となる棚田、農業用水路の保全には、多面的機能支払を活用しており、地域の環境保全に対する意識も更に向上している。

【地区概要】

- ・取組面積 17ha（田10ha、畑7ha）
- ・資源量 開水路5.7km
農道 2.8km
ため池1箇所
- ・主な構成員 自治会、農業者、
平林活性化組合、
子供会、婦人会
- ・交付金 約0.5百万円（H27）

（ 農地維持支払
資源向上支払（共同、長寿命化） ）

活動開始前の状況や課題

- 少子高齢化が顕著であり、地区の産業も衰退するなど地域の活力が低下。
- また、農業従事者の高齢化や後継者不足が進んだことにより、耕作放棄地が増加。
- 地域の営農者の生産意欲が低下すると共に、地域の活力も減少。

【地域の資源である棚田と富士山の風景】



取組内容

- 富士山と棚田の美しい景観と、農業体験、朝市や地域食材を使った料理の提供をセットにした、都市との交流を推進。
- H19からは多面的機能支払を活用し、地区の財産である農村景観保全に取り組む。



【共同活動
景観作物の栽培】

【保全される棚田
と富士山の風景】



取組の効果

【農地の保全状況】

- ・高齢化により耕作できなくなったほ場など地域で管理する農地面積
H20年度：0.79ha ⇒ H26年度:1.11ha

【体験農業活動実績】

- ・体験者数
H20年度：1,364人 ⇒ H26年度:1,676人

【平林体験農園休憩交流施設利用実績】

- ・体験者数
H20年度：5,137人 ⇒ H26年度:5,353人

【棚田オーナー制度による 田植え風景】



とみおか
富岡の環境を守る会 (山梨県上野原市)

うえのはら

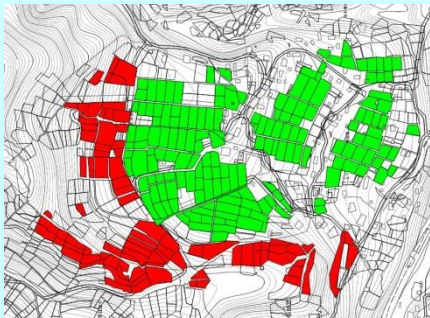
- 本地域は山村の棚田で形成される水田地帯である。水資源に恵まれ良質な米を生産している。しかしながら生産基盤整備の遅れや野生獣の被害等から遊休農地が目立ちはじめ深刻な状態だった。
- 生産基盤の整備による課題克服、平成25年度から本活動への取組みとし遊休農地の解消及び学校教育と連携し環境保全の啓発活動とし田んぼの生きもの調査を実施。
- これらの活動により地域住民の環境保全意識の向上が図られた。

【地区概要】

- ・取組面積6.3ha (田5.8ha、畑0.5ha)
- ・資源量 開水路2.4km、農道1.3km
- ・主な構成員 農家、水利組合事務局
- ・交付金 約0.5百万円(H27)
農地維持支払
資源向上支払(共同、長寿命化)

活動開始前の状況や課題

- 水路等老朽化が著しく、漏水等から排水障害により作付けが出来ないことから遊休農地が発生。
- 山林からの野生獣の被害により、農業意欲が減退し遊休農地が発生し雑草が繁茂し病害虫が発生するなど周辺農地まで遊休地化が拡大。
- 獣害対策を含む、生産基盤の改善を検討し、農業農村基盤整備の実施へ着手。



協定農用地	
遊休地を再生した農地	

取組内容

- H23年度～鳥獣害柵の整備や野面石を利用した、景観・生態系保全等の環境へ配慮した生産基盤整備の実施。
- H25年度本活動の開始 農村環境保全活動とし田んぼの生きもの調査を実施。地域の小学生と保護者、水利組合など非農家を含めた環境学習を実施。
- 遊休農地の有効活用とし、農地へ再生し果樹等の地域資源となる植栽を行う。

【生きもの調査風景】

【生物観察の様子】



取組の効果

- 農村環境保全活動とし生きもの調査を実施し地域住民の環境保全意識の向上。
・参加者数 (H25年度) 21人 (H26年度) 29人
- 生産基盤整備を契機に、遊休農地3.2haの解消を行ない、果樹等苗木195本を植え、地域振興の資源とすることで地域の活性化が図られる。
- 地域の農地・環境保全に対する住民意識の向上。

【保管理された棚田】

【果樹林植栽の状況】

